

ピルファイブ  
**PILL-5** [日本語版]

アセスメントツール

日付 年 月 日

氏名	性別 男 ・ 女	年齢 才
----	-------------	---------

1. 5つの質問で、あてはまる点数をチェックしてください。あなたがこれらの症状をどれくらいの頻度で経験するかを○で囲んでください。



錠剤※服用に関する5つの質問

1 錠剤が喉につかえる	0	1	2	3	4
2 錠剤が胸のあたりにつかえる	0	1	2	3	4
3 錠剤を飲むことに怖さを感じる	0	1	2	3	4
4 錠剤を飲むのが難しく、必要な薬の全てを飲みきることができない	0	1	2	3	4
5 粉砕したり、包んだりなど何かしら調整をしないと錠剤を飲むことができない	0	1	2	3	4

2.

5つの質問の点数を足して、合計点数を確認してください。

→ 点

※錠剤には、“錠剤”と“カプセル”を含む

3. PILL-5 は、錠剤・カプセルを服用するときの嚥下の機能を測るためのものです。合計点数が12点以上の場合、錠剤・カプセルの服用に関して、専門医にご相談ください。

判定基準	判定結果	対処法
0～6 未満 (0 ≤ PILL-5 < 6)	正常	錠剤やカプセルの服用において錠剤嚥下障害はほとんどないため、薬の変更は必要ありません。
6～12 未満 (6 ≤ PILL-5 < 12)	軽度から中等度の錠剤嚥下障害	錠剤やカプセルの服用において軽度から中等度の錠剤嚥下障害が考えられます。錠剤嚥下補助製品※の使用が推奨されます。 ※錠剤嚥下補助製品：錠剤を包み込むことで飲み込みを助ける服薬用のゼリーやペースト状態のオブラート
12 以上 (PILL-5 ≥ 12)	中等度から重度の錠剤嚥下障害	錠剤やカプセルの服用において中等度から重度の錠剤嚥下障害が考えられます。薬の剤形変更が推奨されます。専門医にご相談ください。